



共通で話題に
上がった項目
・公共交通
(こいつとバス)
・空き家

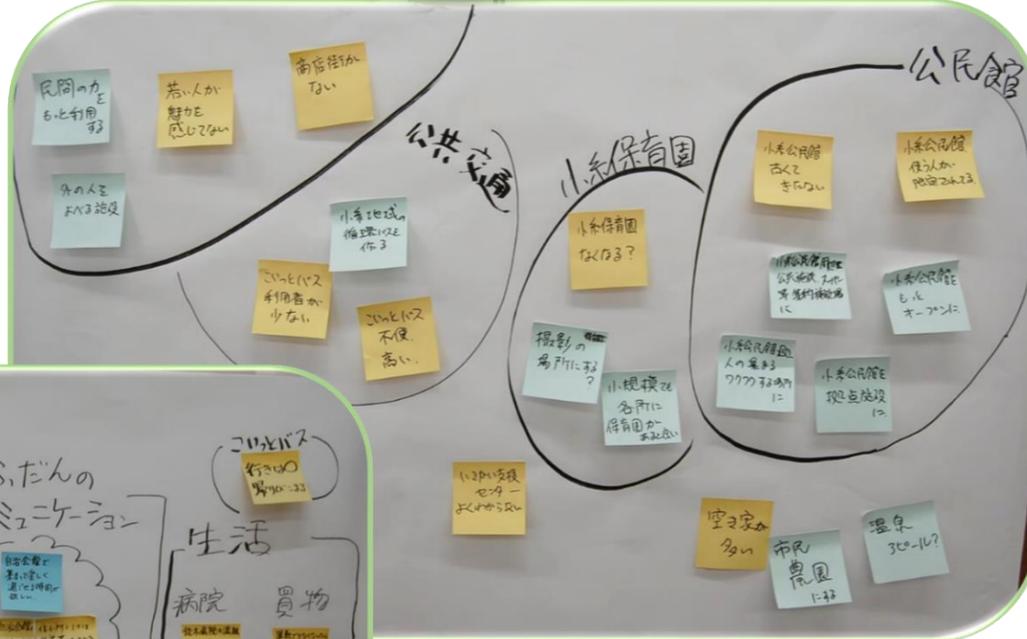
市職員による「君津市総合計画について」
当日、担当職員は都合が合わず、録画で
お話を聞きました。

大塚教授による
「君津市の財政」

暮らし隊メンバー
が資料を提示しな
がらサポート



黄色い付箋には
主に現状や課題、
青い付箋には
解決策を書きました

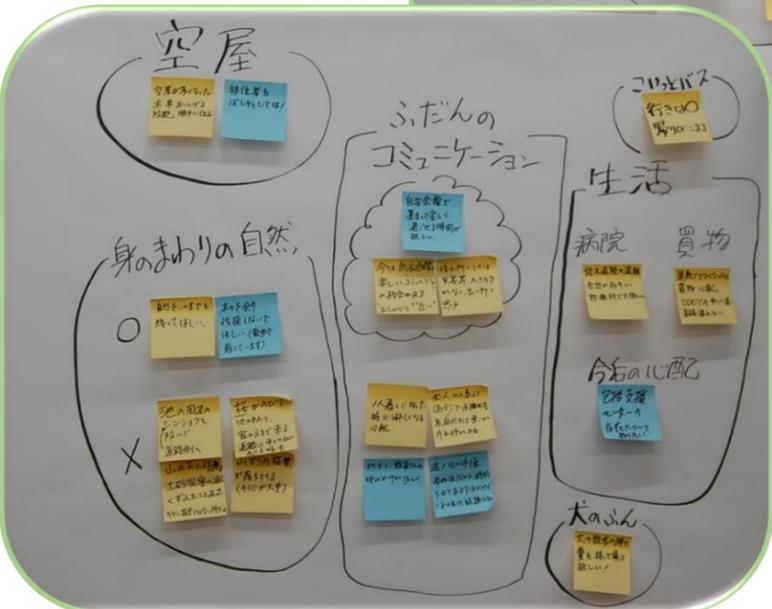


◆小糸公民館文化祭に参加 (2023年2月25日、26日)

多様な意見を聞きました!

3回の【井戸端会議】で出た意見をピックアップして付箋に書いて貼り、
来場者には新たな意見をピンクの付箋に書いてもらいました。

文化祭期間中はメンバーが立ち会い来場者に話しかけることで、いろいろな意見を聞くことができました。



小糸の地図や施設カードを使い、現状を知る

終了後アンケートより抜粋

- ・市原市は千葉県最大面積で、その次に広い面積を有する君津市での歳入が、市原の1/3しかないという悲しい現実。令和元年の台風の被害が未だに片づいていない。財政力指数だけでは、どうにもならないと思います。若い人が魅力を感じる「君津」でない!
- ・市議さんに頑張ってほしいです
- ・財政の厳しさを知りました
- ・現実に遊離した内容と感じたが、認識を新たにしたい

- ・地域の皆様と意見交換できてよかったです。大塚教授のお話もよかったです
- ・君津の財政について、とても勉強になり、興味がありました。本日は参加して良かったです
- ・今日の意見が実現される様に祈りたいです
- ・参加した事、大変勉強になりました。ウイルス云々で家に閉じこもるだけで、世間の狭さを痛感しています
- ・今までの市の取組みには感謝しています。より良くなるように色々話し合いが出来たと思います

共感者が多い意見<シール数>

- ☆君津駅直通のバスが欲しい (現在は中島まで運行) <5>
 - 公民館の環境整備 (建替え) <5>
 - 子育て世帯を増やしていきたい<4>
 - ☆公民館のトイレが古い<3>
 - 小糸の中で500円かけて行くかな? (こいつとバス) <3>
 - 学校統合は地域への影響が大きい<3>
 - 古民家の活用 (古民家空間) <3>
 - イノシシ・小動物・シカが出る。掘り返されている→市が動かない<3>
- ☆は来場者から新たに出た意見

共感する意見の
ところに○シールを
貼ってもらいました。



来場者から新たに出たその他の意見

- コミュニティバスの乗り継ぎが不便
- 自動走行バスのテスト導入を
- コミュニティバスの本数を増やしてほしい
- 幼稚園卒園～小学校入学までの子を預ける先がない。
- 旧小糸小の施設を地域の方に有効利用してほしい
- 空き家…地域の良さを知っている人 (転売目的でなく) による活用を望む
- 交流人口をまずは増やそう (都会の人間を呼ぶ)
- 住みやすいまちづくりと環境の整備
- キッチンカーを出店したい!
- 車中泊スポットも増やしていこう (RVパーク化)
- ゲームを使って地域を知る
- 大井の前に横断歩道が欲しい



「君津の暮らしを考え隊」(問合せ先:Email kurashitai2022@yahoo.co.jp ↓)

Facebook ↓

当会は、暮らしの疑問を出発点に、君津市の財政状況について継続した学習と調査を通じて、君津市の実情を知り、市民が君津市と暮らしのこれからを考えられることを目的としています。
 ※知り隊ニュースのバックナンバーは市内8公民館にあります。



仲間を
募集中



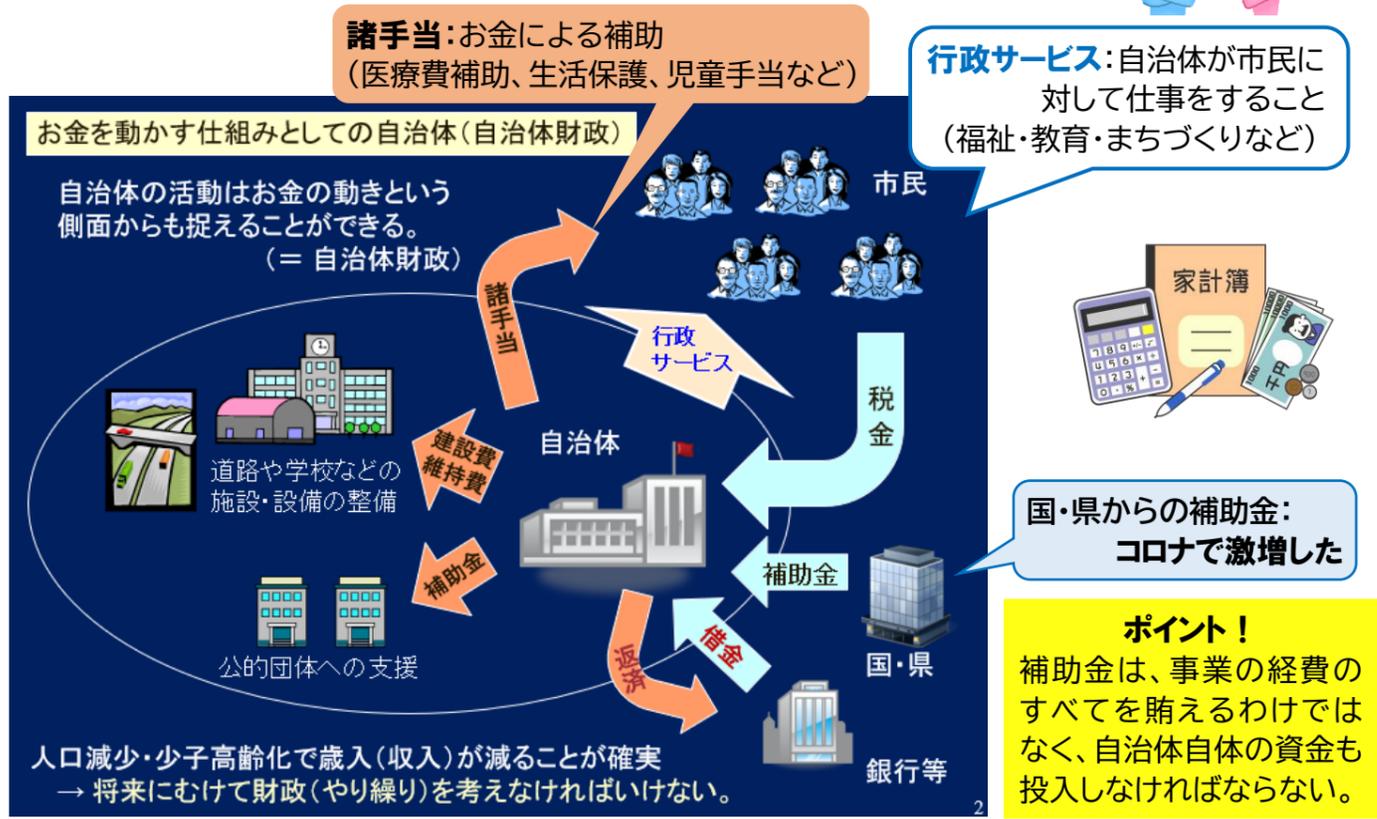
令和5年3月18日、小糸公民館地域活動活性化事業として、大塚成男教授を講師にお迎えし財政公開講演会を開催しました。

君津の財政に余裕は無い！ 新たな取り組みを行っていくためには、既存の事業の見直しも必要！

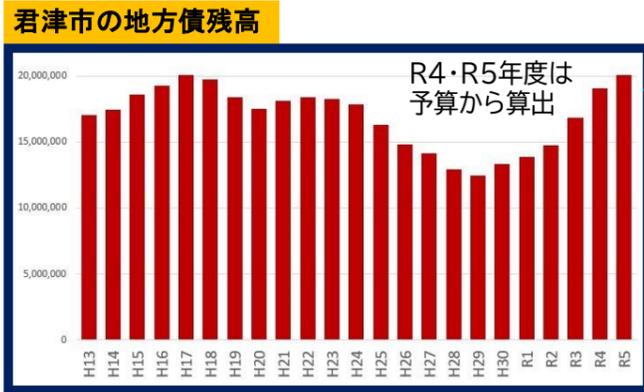
自身の暮らしを考え「あれかこれか」市民も意見を発信していこう

大塚先生プロフィール
 ・熊本学園大学大学院 教授 (元千葉大学教授)
 ・専攻は財政での決算情報の活用。国や君津市等の多くの自治体で、財政運営や行政改革に関する委員を務める。

1. 財政と暮らしはつながっている



3. 市の借金も再び増加傾向に



借金

ポイント! 但し、将来世代が利用する施設・設備を借金で建設することに合理性がある。

4. 君津の財政に余裕は無い

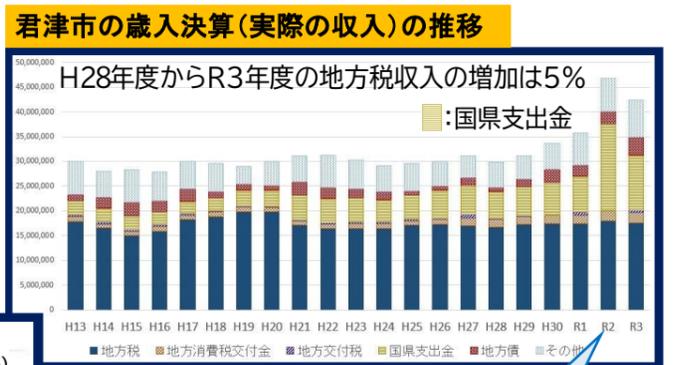


財政の余裕度の目安となる**経常収支比率**は再び増加し全国平均を上回った。

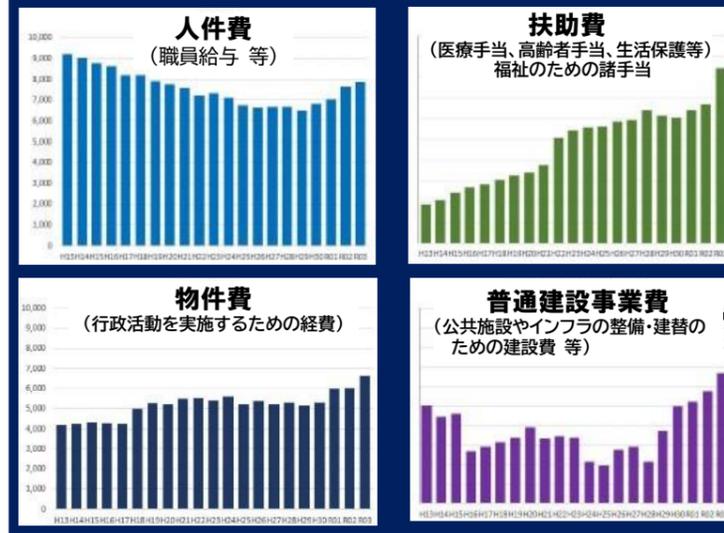
月給は多くても、生活費も大きいため特別な支出 (冷蔵庫の買換え等) や新しいことをするためのお金がない状況であると言える。

2. 税収増を上回る支出の増加

Q: 人口は減っているのに、なぜ人件費が増加?
A: 人員削減も限界に達し定期昇給の分。また、非常勤職員の給与は、制度変更の為、物件費から人件費に変わった。(しかし、物件費も上昇)



君津市における歳出 (支出) の増加



H28年度以降、 税収は増えていないのに、支出は大きく増加している。

コロナで激増 R2年度歳入規模は過去最大 → 国や県からの支出金 (特例定額給付金や補助金等) が非常に大きかったためであり、税収が増加しているわけではない。

Q: 高齢化のピークアウトは? (扶助費の増加)
A: 高齢化はまだ続く。財政は行政と違い悲観論で考え、歳出は増えていくことを想定すべきと考える。予想が外れ増えずに済めば余力が出来ていくという考え方をしていく。

5. 令和5年度予算は高止まりの歳出を貯金で賄っている

君津市の令和5年度予算

歳入の総額は359.7億円内、自主財源は221億円

【歳入予算】			
市税	176億 4,100万円	対前年度比	- 1.1% (-1億 9,400万円)
国庫支出金	46億 460万円	"	- 10.6% (-5億 4,790万円)
県支出金	28億 7,178万円	"	+ 17.7% (+4億 3,088万円)

税収は増えず、国県支出金は総額としてこれまでと同程度の金額を見込んでいる。

地方債の発行による収入	28億 6,620万円	対前年度比	- 24.0% (-9億 620万円)
繰入金 (過去からの蓄えの取り崩し)	19億 9,346万円	対前年度比	+ 62.7% (+1億 577万円)

ポイント! 補助金・協力金 (移転費用) はコロナ禍が収束すれば減少するかもしれない。しかし、コロナ禍対策による経費が減らないままだと、将来の財政負担を増加させることが危惧される。

Q: 過去からの蓄えを使わずに済ませるには
A: 歳入は増えない以上、歳出を絞り込むことが必要。市民生活に影響を与えずに歳出を絞り込むためには、市だけではなく、市民も考えなければいけない。

〈参考〉上総4市の経常収支比率

(%)	令和元年度	2年度	3年度
君津市	91.6	89.2	89.9
袖ヶ浦市	95.1	89.9	(未公開)
木更津市	94.2	93.2	89.8
富津市	91.1	86.9	85.8